

とらふみ

創刊号

編集発行／東御市総務部企画課情報係 TEL 61 5806 FAX 61 5801 東御市ホームページ http://www.city.tomi.nagano.jp/ 印刷／東鉄印刷株式会社

人の動き

(4月1日現在) 世帯数 10,868世帯 総人口 32,150人 男 15,818人 女 16,332人 転入 295人 転出 274人 出生 27人 死亡 26人



菅野圭介(すがの けいすけ 1909〜1963) 宮城県出身。京都大学文学部中退、昭和10年渡仏しジュール・フランシランに師事する。昭和18年鳥海青児とともに独立美術協会会員推挙。昭和24年三岸節子と別居結婚するが、昭和30年に解消。須藤美玲子と結婚。その後は美術界から事実上抹殺され、晩年健康を害し数年間の闘病生活のすえ昭和38年に54歳で没。



菅野絵画館には、菅野啓介作品葉50点が収納(日本最多・寄託含)され、15点程度を常設展示されています。

絵は心の恋人探し

その1

梅野記念絵画に展示してある作品を梅野館長に説明していただきます。

「哲学の橋」 菅野圭介 作

「心に感動が無ければ物は見えないに等しい。」これは私の好きな洲之内徹(すのうちとおる)さんの言葉です。私は昭和60年(1985)、近代日本洋画家を研究したいと思い、60歳で東京・京橋に美術研究所藝林を開設しました。そして若い時から大好きだった菅野作品を探していました。ある日のこと、私は菅野の「哲学の橋」の絵に出会ったのです。「傷があるので補修費がかかります。額も無いから安くしましょう。」という言葉に感謝し、すぐに買うことにしました。その後研究所にいられていた下氏にお譲りしたのですが、最近下氏が急逝され、その未亡人からお許しを得て再び当館で展示させていただくことができました。菅野圭介の顕彰のために「役買」つことになった事を本当に嬉しく思っています。目の前の風景をじつと見つめ、やがてデッサンなしに二氣に描いたその絵は、清冽な魅力に満ちた色彩で、不純物を一切取り去った半抽象の構成で、悠久ともいえる芸術の調べを潮騒のごとく奏でています。浪漫の画家・菅野圭介。これを才能と呼ぼうして誰を呼ぼう。菅野圭介は昭和13年に薨光(あいちこう)とともに独立賞(独立美術協会)を受賞して、華々しいデビューを飾りました。その後、女流作家・三岸節子との恋愛、別居結婚、離婚、晩年の凋落、死。そして妻・美玲子の後を追うような死。彼の辿った人生や絵に捧げられた栄光と忘却は、菅野圭介が「天才」であったゆえに背負わされた十字架だったのかも知れません。栄光を手にしなが埋没した菅野圭介が再評価される日はそう遠くありません。来館された多くの方が菅野の絵に感動されています。皆様、ぜひご来館ください。 文・梅野 隆 館長

編集後記

▼「市報とうみ」の記念すべき第一号が発行できました。北御牧の皆さんは、これまでのタブロンド版からA4版に変わり、時報と少し違うかもしれないと思いますが、早く慣れていただきたいと思います。▼市報とうみのロゴ(名前)は「市報とうみ」とより多くの人たちに読んで欲しいことを願い、漢字ではなく、誰にでも親しみが持て、誰にでも分かるひらがなにしました。▼この市報が、東部と北御牧の皆さん

んが行政や地域のなかの情報について、ともに共有できるものにしていきたいと思います。また、皆さんに親しまれ、皆でつくる市報にしていきたいと思います。▼そのためには、市民の皆さんからの情報が必要で、4月2日発行「市報とうみ」お知らせ版にも掲載しましたが、記事などを募集していますので、どんどんお寄せください。▼また、私がおし読者のあなたに取材や写真撮ることがあったら、快くご協力ください。今後とも「市報とうみ」をよろしく願います。(市報担当 柳橋)



ご入園、ご入学 おめでとうございます

- 1 4月2日、市内の各保育園・幼稚園で入園式が行われました。(写真:田中保育園)
2 4月5日、市内の5小学校で入学式が行われ、304人の可愛いお友達が仲間入りしました。(写真:北御牧小学校)
3 4月6日、市内の2中学校で入学式が行われ、321人の生徒が胸を膨らませ新中学生になりました。(写真:東部中学校)